



おおた教育ビジョンの理念

- 笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

教育目標

- よく考える子ども ○ 思いやりのある子ども
- ねばり強い子ども ○ 健康な子ども

よりよい未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシーを育成する
— 教師一人一人の「研究構想シート」に基づく授業力向上 —

校内研究の趣旨

研究者と対等で互恵的な関係性の中で、教師一人一人が深掘りしたい研究テーマを追究することで、組織的に授業力向上を図り、こどもたちの深い学びの実現を目指す。

こどもたちの深い学びを実現するための基本フレーム

- 教科「おおたの未来づくり」を要に教科等横断的な視点・外部連携の視点による
学習の連続性・系統性
- ・異学年交流学习、コラボ授業、地域校外学習・学習成果の発信
- 「習得—探究サイクル」による単元構成
- <習得サイクル> (学習方略の習得)
 - ・「つまずきポイント」から構築する授業デザイン
 - ・「めあて」-「たいせつ」-「たしかめ(理解確認)」-「チャレンジ(理解深化)」-「ふりかえり」
- <探究サイクル>
 - ・「つかむ」-「あつめる」-「まとめる」-「あらわす」
- 「予習—授業—復習サイクル」による学習観・学習習慣の定着
- <予習—授業> 分からないところをはっきりさせて授業の臨む
- <授業—復習> 授業で理解したことを言語化する・授業で間違えた理由を分析する
- 学習観・学習方略の習得による自己調整力の向上
- <学習観> 意味理解志向・思考過程重視志向・方略志向・失敗活用志向
- <学習方略> 認知的方略・メタ認知方略・外的リソース方略
- 「イノベーション・シート」等を活用した AAR 自己評価力の向上
- ・自己理解を深めるアウトプット

小学校生活で身に付けてほしい力(変革をもたらす3つのコンピテンシー)

「イノベーション・シート」による AAR(見通し・行動・振り返り)

- 新たな価値を創造する力
 - ・現状に疑問をもち、他者と協働しながら既存の枠にとらわれずに考える。
- 対立やジレンマに対処する力
 - ・関係するみんなが納得できるよう、折り合いを付けながら解決策を見付け出す。
- 責任ある行動をとる力
 - ・これまでの経験などに照らし合わせて、自分の行動を思い起こして振り返る。

学校目標 目標の実現に向けた「未来実現プロジェクトチーム」による AAR

- 他学年との関わりを大切にしよう……他学年との関わりを深め仲のよい学校をつくろう
- 学校のきまりを守ろう……安心、安全で居心地のいい学校をつくろう
- みんなが過ごしやすい学校をつくろう…学校に行きたいと思えるような楽しめる学校をつくろう

特別支援教育の推進・充実

<みんなの思いやりで 居心地のいい学校づくり>

- 全教職員でこどもたち全員を育て支援する校内支援体制
- サポートルーム(特別支援教室)の運用による困難さの克服・解消
- ・「デマンド・ニーズ・実行プログラム」で自己判断・自己決定・自己実現で
きるための PDCA サイクルの確立と学びの質の向上
- ほっとルーム(校内支援センター)の運用による居場所づくり
- ・学習環境、学習方法の自己選択・自己決定
- 特別支援学校のセンター的機能の活用
- 合理的配慮の提供
- 授業ユニバーサルデザインによる学習環境整備(基礎的環境整備)
- 「自立活動」の視点による教育的支援の充実
- 特別支援委員会による組織的対応の充実

成果指標(肯定的回答9割以上)

- 「授業が分かる」
- 「学校が楽しい」
- 「協働することで考えが深まる」
- 「他学年との関わりを大切にしている」
- 「地域や社会をよりよくするために何が
できるか考えている」
- 「学校のきまりを守っている」

子どもの学びを進化させる専門性向上・組織力向上のための取組

- 学年交換授業の実施 ○ 異学年交流学习による学習活動の充実 ○ いじめ防止・不登校対応、安全・危機管理の組織対応の徹底 ○ 定期的なリフレクションによる人権尊重の理念・人権課題への深い理解 ○ GIGA 推進チームによるタブレット利活用の推進・充実 ○ 「OJT パッケージ」による授業力向上 ○ 教員の働き方改革による教育活動の質的向上
- 服務事故防止・メンタルヘルスの組織的対応徹底

